



鶴見民児協だより

平成25年4月発行 鶴見区民生委員児童委員協議会 会長 神保修治 鶴見区鶴見中央3-20-1 ☎045-510-1791

広げよう 地域に根ざした 思いやり
民生委員・児童委員 主任児童委員です
私たちが大切にしていること

把握する

地域の人の状況や、支援が必要な人を把握するよう努めています。

つなげる

地域住民の一員として、皆さんの心配事や困り事を一緒に考え、必要な機関につなげます。

見守る

支援が必要な人が地域で安心して暮らせるように、日常的に訪問して見守っています。

※民児協とは

「民生委員児童委員協議会」の略で、民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を推進するための団体です。



担当委員の問い合わせは、鶴見区役所 福祉保健課 運営企画係 ☎ 510-1791 FAX 510-1792

鶴見区民生委員児童委員協議会 会長 神保 修治

平成24年4月に記念すべき第1号の「鶴見民児協だより」を発行し、鶴見区内に17ある地区民児協のうち6地区の活動について紹介しましたところ、多くの方から民生委員・児童委員、主任児童委員の活動に対して、見やすく分かりやすいとお声を頂きました。今号でさらに6地区、次号で残り5地区を紹介して、区内すべての地区の活動報告が終わります。

今年は、3年に一度の一斉改選が実施され、民生委員・児童委員、主任児童委員は各地域から推薦されることになっております。委員の職務は年々増えてきておりますので、その活動に対する地域の皆様により一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



“把握する” ってどういう こと?



民生委員・児童委員、主任児童委員は、私たちみたいに地域住民の一員なのよ。地域に住んでいる赤ちゃんからお年寄りまでの誰もが安心して暮らせるよう、子育て・福祉サービス・介護などで困っている人がいないかどうか、地域で孤立している人がいないかどうか、日頃からアンテナを張って、把握できるように努めてくれているのよ。

大切にしている
こと、だった。



具体的に
どうしてるかな。

“つなげる” ってどういう こと?



困っている人が地域にいたら、その人から話を聞くなどして、具体的に何に困っているのか相談に乗ってくれるのよ。そしてその内容に応じて、区役所、地域ケアプラザ（地域包括支援センター）、児童相談所などの専門機関を紹介したり、その人に必要な情報を提供しているの。

民生委員・児童委員、主任児童委員は、困っている人の“相談役”でもあり、困っている人と専門機関をつなぐ“パイプ役”でもあるのよ。

※民生委員・児童委員、主任児童委員には守秘義務があるため、安心して相談できます。

“見守る” ってどういう こと?



私たちの住んでいる地域には、高齢でおひとり暮らしの方、高齢者だけの世帯、普段はご家族と同居でも日中に高齢者だけになる世帯、子育てに悩んでいる世帯など、支援が必要な家庭があるんだよ。そのお宅に日常的に訪問してご様子を確認したり、安心して生活できるようにさりげなく気かけたり、見守ったりしてくれるんだ。

また、この活動は民生委員・児童委員だけでなく、自治会・町内会や、地域の団体と連携して行ったり、支援する体制を整えていたりもしているんだよ。

地区紹介

鶴見区民児協は次の17地区民児協から構成されています。
矢向・市場・市場第二・鶴見中央・潮田中央・潮田東部・潮見橋・潮田西部・小野町・
生麦第一・生麦第二・豊岡・寺尾・寺尾第二・駒岡・上末吉・下末吉
今号では、**市場第二・潮見橋・潮田西部・豊岡・寺尾・上末吉**の6地区を紹介します。

市場第二地区

安全で安心して心の通う町をめざして

市場第二地区は、北側に川崎市、西に鶴見川に接する位置にあり、古い街並みとどんどん建つ大小マンションが混在しています。密集している所も多く、災害時は心配です。若い世代や、高齢者も増えています。

<重点活動>

- ・要援護者、高齢者の見守り及び子育て支援
- ・新旧住民との交流

また、当地区は昨年新たにヨコハマオールパークス自治会を迎え、6町会で構成しており、委員は17名です。地区、町会のイベントには委員が積極的に活動しています。

<地区活動紹介>

- *「ゆうづる夏祭り」
- *災害時要援護者安否確認救護訓練
- *地区青少年音楽祭(小、中学生～社会人)
- *障害者地域活動ホームもとみや もちつき大会、納涼祭 *熊野神社 祭礼
- *一人暮らし高齢者会食会
- *尻手よちよちクラブ(0歳児) *上町さん家
- *ゆうづる子育て支援会議 KOMET 等々
(市場第二地区民児協会長 渡邊 記榮)

災害時
訓練の様子
要援護者
救護



潮見橋地区

みんないきいき ふるさと潮見橋

平成21年に完成した潮見橋を渡ると本町通り、そこが潮見橋地区の玄関口です。潮見橋地区は7町会で構成されていて、小学

“ちびっ子広場”の様子



校を中心に近くには地区センター、地域ケアプラザがあり、いろいろな活動をするにはとても便利な所です。地区社会福祉協議会(地区社協)が主体となって活動している、**あいねっと**※でのスローガン『ふるさと潮見橋～ごみ出しからはじまる、声かけ、あいさつ、地域の輪～』をもとに、地区連合、地区社協、民児協、地域ケアプラザが一体となって、地域の高齢者や子どもたちの為に年間を通して行事を行っています。

地域には平成20年に開設した“しおみふれあいルーム”があり、そこは子ども向け行事や、健康マージャン、カラオケと誰もが利用出来る居場所で、年間の行事を計画しています。また子育て支援では“ちびっ子広場”も毎月1回開催しており、育児相談、七夕、プール、運動会、クリスマス、お正月など季節の行事を主任児童委員と保健活動推進員が協力して行っています。その他高齢者向けの配食キッチン“403(しおみ)”があり、体育祭のお菓子、年末のおもち配布、年二回の会食会、ウォーキング、出前講座を行っています。これからも、それぞれ堅い連携で住民が安心して暮せる防災も考えての“ふるさと潮見橋”を目指し活動してゆきます。

(潮見橋地区民児協会長 永井 和男)

※“あいねっと”とは…鶴見区地域福祉保健計画「鶴見・あいねっと」の愛称です。「支えあい」「助けあい」の「あい」と、「人と人とのネットワーク」の「ねっと」を合わせたもので、子どもも大人も、高齢者も、障害者も、誰もが安心して生活できるまちづくりのための活動を進めています。

ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業

ひとり暮らし高齢者が孤立することなく、安心して生活できる地域づくりを進めていくため、この事業は始まりました。横浜市から民生委員・児童委員に、75歳以上でひとり暮らしの方の情報を提供し、ご本人の状況や意向を確認した上で必要な支援につなげていきます。また、ご本人の同意をもとに教えていただいた情報は、地域包括支援センター・区役所とも共有し、いざというときの支援の輪を広げていきます。

民生委員・児童委員が大切にしている“把握する”の一助となるよう、鶴見区では平成23年度に4地区、24年度には12地区で進めており、今後はさらに地区を拡大していく予定です。
(事業の問い合わせ 鶴見区役所福祉保健課 ☎510-1791)

潮田西部地区

ニーズに対応した活動を めざして

潮田西部地区は、潮田地域ケアプラザ、潮田地区センターを中心とした地域です。潮田



西部地区民児協では“住民の立場にたって相談に応じて必要な援助を行う”ことを目標に活動を進めていますが、民児協独自の活動と共に、地区自治連合会、地区社会福祉協議会と連携して行っています。

高齢者福祉活動では、連合婦人部の協力により「ひとり暮らし高齢者等の昼食会」を年4回程度開催し、ゲームや、園児・小学生との異世代交流を盛り込んだ内容とするなど、毎回工夫をして開催しています。

地域福祉活動では、潮田地域ケアプラザと連携し、専門の講師を招いて、健康、防犯、防災等地域の方々に有意義な内容とした福祉講座を開催しています。また、防災訓練時には、聴覚障害者との簡単なコミュニケーションができるよう手話講座を組み入れたりしています。

私たちの支援対象となる方々のニーズも多様化しており、民生委員・児童委員、主任児童委員としての力量アップのために、知識や技術の向上を目的とした情報交換を、毎月開催している会議で取り上げています。

(潮田西部地区民児協会長 細野 一明)

豊岡地区

20年以上続いている 運動会「敬老席」接待

豊岡地区は7町会、20名の民生委員・児童委員、主任児童委員で構成され、鶴見駅西口が近く交通・買い物に便利な住みやすい街です。

65歳以上のひとり暮らしの方が2,823名居住し、そのうち215名位の方を保健活動推進員・友愛活動員・民生委員の3者で担当を決め、月延べ360回以上の訪問を行っています。今では親しい間柄になり、訪問を楽しみに待っていてくださる程になっています。

かつて当地区は、地区社会福祉協議会（地区社協）がなかなか創れず、区役所からのたつての依頼により、民児協が地区社協を兼務していた時期がありました。地区社協として単独行事を検討した結果、地区連合運動会で「敬老席」を設けて弁当・菓子湯茶の接待を始め、今でも毎年70名近い方々が喜んで足を運んでくださっています。現在は地区社協ができ、民児協はお手伝いという位置づけですが、20年以上続いている活動です。

主任児童委員は、豊岡小学校と連携し子ども達の地域生活の相談や、未就園児と保護者を対象に、民生委員と共に「ふ



地区連合運動会「敬老席」

たば」で活動しています。鶴見中央地域ケアプラザの仲介で「ケアマネジャーとの連絡会」をもち、より良い生活支援に役立てています。今後は地域の方々との連携を図り、笑顔をもっとに絆を深める活動を行っていきたいと思っています。

(豊岡地区民児協会長 溝幡 三紀子)

こんにちは主任児童委員です!

主任児童委員は各連合町内会に2名ずついて、主に子どもたちのための活動をしています。

近年は『子育て支援』に関わる機会が多く、若いママたちとお話をする機会が増えました。ママたちの抱える不安が、やがて虐待につながってしまうことの無いように、ニーズを把握し、地域や行政の協力をいただきながら子育てを応援していきたいと思えます。

現在、虐待の通報は『義務』となっていますが、警察や児童相談所に連絡するほどの事かどうか…と迷う場合には、お近くの主任児童委員にご相談ください。関係機関につなげ、見守りのお手伝いをいたします。

(鶴見区主任児童委員代表 上遠野麗子)



オレンジリボンは「子ども虐待防止」のシンボルです

寺尾地区

私達は、“あいねっと”を大切にしています

寺尾地区は東台から獅子ヶ谷に至る7町内会で構成され、25名の民生委員・児童委員、主任児童委員が活動しています。寺尾とやまゆりの二つの地域包括支援センターに於いては、ケアマネジャーとの情報交換会、事例対応研修会等の勉強会を行い、更に外部講習会にも積極的に参加し、定例会で発表することにより、情報の共有と委員全体のレベルアップに心掛けています。

やまゆりホームに於けるケアマネジャーとの情報交換会



また寺尾地区には多くの公立・私立の小中学校があり、学校との連携は重要な課題となります。多くの学校で開かれる地区懇談会に積極的に参加し、警察、町内会、学校関係者と共に地域全体で生徒を見守る体制に協力しています。さらに防災訓練や薬害防止キャンペーンに於いては、中学生自身にも参加してもらい、あいねっと意識の高揚と非行防止に役立てています。

高齢者の集いの場の設定や母と子の広場への協力等は、どの地区の民児協でも行っていると思いますが、当地区では配食サービスに注目し、高齢者に関する情報を少しでも得られないものかと模索しているところです。私達は常に住民の立場に立って相談・援助に努めると共に、孤独死などを起こさせない活動に励んでいます。

高齢者の集いの場の設定や母と子の広場への協力等は、どの地区の民児協でも行っていると思いますが、当地区では配食サービスに注目し、高齢者に関する情報を少しでも得られないものかと模索しているところです。私達は常に住民の立場に立って相談・援助に努めると共に、孤独死などを起こさせない活動に励んでいます。

(寺尾地区民児協会長 小室 正吾)

上末吉地区

地道な活動で地域を支えています

上末吉地区民児協は現在、民生委員・児童委員15名、主任児童委員2名が、それぞれ地域の身近な場所で活動をしています。最近、ひとり暮らし高齢者の増加、孤独死、災害時要援護者の支援、子どもの虐待など民生委員・児童委員が抱える地域の課題は多々あります。それらの活動を支えるため、講演会や施設見学会等で研鑽を重ねています。

施設見学会では、近隣の施設見学ということで特別養護老人ホーム「しょうじゅの里」、障害者支援施設「希望」を訪ね、いろいろ学ばせていただきました。また、近隣の駒岡地域ケアプラザには定例学習会や情報提供など協力をいただき、連携を大切にしています。

また主任児童委員は保育園・幼稚園・小学校等と連携を密にして、子どもや児童等の問題で悩んでいる方を民生委員・児童委員と共に支援し、地域を支えています。



施設見学会

そして、民生委員・児童委員、主任児童委員は地区社会福祉協議会

の一員でもあり、地区社協の主催事業「一人暮らし高齢者の会食会」「敬老会」等にも参加協力をしています。普段は「地域の中での地道な活動を第一に」を目標に活動を続けています。

(上末吉地区民児協会長 増田 佳子)

平成24年10月24日 鶴見公会堂

「横浜第1ブロック安全・安心まちづくり 保護司・民生委員児童委員 協議会」

NHK で放送されていた「難問解決!ご近所の底力」のチーフディレクターである黒川敬氏を講師にお招きし、「高齢化の進んだ団地での地域住民による新たな見守り活動」「暴走族を地域ぐるみで更生させた事例」「地域の問題に専門家を巻き込んで解決した事例」等をお話いただきました。参加者にクイズに答えてもらう場面もあり、ユニークな講演会で大変好評でした。

厳しい社会情勢の中、過ちを犯した人にとって社会復帰は容易ではありません。地域の更生保護活動では、保護司と民生委員・児童委員との連携は必要不可欠であり、この会がその糸口となることを願っています。(鶴見保護司会 会長 河西 英彦)

全体研修会

(平成24年11月9日開催)

平成24年度の全体研修会は、『“地域全体で見守る”という姿勢をどう育むか～より良き“灯台の灯”となれるように～』をテーマに、鶴見公会堂で開催しました。民生委員・児童委員、主任児童委員の活動の中で、“見守り”は重要な役割を果たしています。どうしたら地域全体での見守り体制を作れるかを委員同士で話し合い、考える機会となるよう、研修を企画しました。

講師は前年度と同じ泉恵造氏に依頼し、まず前半の基調講演では、地域が抱えている高齢化・孤立化の問題や、民生委員の役割について学びました。

また後半は約8人のグループに分かれ、地域でどのような人に協力してもらえるか、協力してもらうきっかけはどうしたらいいかを話し合いました。また、現在抱えている悩みや課題についても、忌憚なく出し合いました。出された意見はグループごとにワークシートにまとめて会場内のボードに貼り出し、全員で見学して内容を共有することができました。地区を超えた交流の場はなかなか持てないため、大変いい機会となりました。



基調講演の様子



グループワークの様子

あるグループで出された意見

- *自治会・町内会の役員から民生委員をやっている人が多いため、地域の情報は役員同士や自治会・町内会の人たちから提供してもらうことが多い。
- *一番の協力者は、向こう三軒両隣であり、孤独死等させないためにも必要。
- *民生委員がヘルパーさんやケアマネジャーのように本人に深く関われないこともあるため、協力者として必要。
- *新聞等が溜まっていて不思議に思い、訪問したら家の中で倒れていたが、救急車を呼んで助かった例がある。新聞配達の方々など、いろいろな人から協力してもらえるのではないかな。

認知症研修 “認知症を理解しよう”

(平成24年7月26日開催)

潮田地域ケアプラザエリアを中心に、認知症の理解を進めるための活動をしている「しおかぜ会」の方々に講師を依頼し、研修会を開催しました。

当日は「しおかぜ会」のほか、区内の地域ケアプラザの職員も参加し、寸劇を交えての講義となりました。出席者からは、「認知症にも種類があり、それぞれ症状が違うことが分かった」「訪問先の高齢者や、身近な人に、“もしや認知症?”と感じたときの心構えができた」「困ったときには地域ケアプラザに相談していいことがわかった」との感想がありました。

認知症に対して今後もより理解を深め、早めの対応ができるような研修を続けていきたいと思えます。



寸劇の様子

活動記録 記載研修

(平成24年9月12日開催)

民生委員・児童委員、主任児童委員は、日頃の活動を“活動記録”に記録します。昨年度に引き続き、その記載方法についての研修会を開催しました。“活動記録”は記載箇所の分類が細かく、判断に困る委員が多いのですが、この研修は事例演習がメインであり、受講者からは「具体的でよかった」「いろいろな事例があり参考になる」などの感想をいただきました。

「鶴見民児協だより」第2号をお届けします。今号も多くの方に執筆にご協力いただき、また、内容も、誰もが読みやすく、親しみがもてるようにと部会員が工夫しました。この広報紙を通じて、少しでも多くの方が民生委員・児童委員、主任児童委員の果たす役割や活動を知っていただけたら幸いです。

ご協力いただいた関係者の皆様には、この紙面を借りまして感謝申し上げます。(永井和男)

【広報・研修部会委員】

永井和男(部会長)・菊仁(矢向)・永井恒雄(市場)・市ヶ谷トモ子(市場第二)・黒澤宏(鶴見中央)・滑川一布(潮田中央)・大沼博(潮田東部)・山田あゆみ(潮見橋)・本多國義(潮田西部)・小林政晴(小野町)・新井容子(生麦第一)・岡博子(生麦第二)・塩田裕子(豊岡)・會田裕康(寺尾)・永峯敏乃(寺尾第二)・横須賀雅雄(駒岡)・下村廣(上末吉)・榎本昇道(下末吉)